

2級建築士

1. 講座の概要

2級建築士は、大きく「学科」と「製図」があり、それぞれ「無料講座」と「会員講座」がある。過去問は、センターとの許諾条件から会員講座のみでの公開である。2級建築士の講座は、2017年1月にセンターから過去問の使用許諾を頂き開講した。1級建築士同様に毎年、最新の問題を開講する要諦である。

2級建築士の講座は、H19から最新年度の過去問を解説している(下表参照)。2018年のH29年度問題を組み込むと、過去問11年間分となる。1級建築士が過去問20年分をとりまとめているのに比較して、少ない年度である。これは、2級建築士の合格率が1級建築士と大きく異なることから、2級建築士の学科試験は、過去問10年程度で合格可能であると判断している(学習量の減少はスピード合格にも繋がる)。以下に、1級建築士と2級建築士の合格率を示す。

- ・1級建築士(H28合格率): 学科=16.1%、製図=42.4%・・・ストレート合格なら **6.8%** と弁護士並みの難易度
 - ・2級建築士(H28合格率): 学科=42.3%、製図=53.1%・・・ストレート合格でも **22.5%** と難易度が低い
- 過去数年の2級建築士の合格率は、学科30~40%、製図50~55%、最終20~25%である。

製図試験の予測課題については、1級建築士の製図解説と同じように、「80%以上ズバリの中する項目別の予測課題の解説」をする。ただし、その予測課題は、現段階では、1点予測課題の取りまとめとなっている。

2級建築士(学科無料講座)
1章 学科試験の現状把握
2章 4科目の項目別問題別一覧表(H19~最新年度)
3章 過去問の出題法文一覧表(H19~最新年度)

2級建築士(学科会員講座)
1章 4科目の項目別問題別一覧表(H19~最新年度)
2章 過去問10年の出題法文一覧表(H19~最新年度)
3章 4科目全問題のポイント一覧表(H19~最新年度)
4章 II法規の過去問10年の出題法文一覧表(H19~最新年度)
5章 4科目の過去問10年の出題問題一覧表(H19~最新年度)
6章 年度別の問題と解説(H24~最新年度)

2級建築士(製図無料講座)
1章 製図試験の現状把握

2級建築士(製図会員講座)
1章 センター出題課題(H24~最新年度)
2章 センター標準解答図(H24~最新年度)
3章 センター出題課題の項目別分析(H24~最新年度)

2級建築士の受験フローを図1に示す(平成28年度の受験申込フロー)。大学、短大、高等専門学校で指定科目を修めた方は、実務経験0年で受験できる。高等学校で指定科目を修めた方は、実務経験3年で受験でき、学歴がない方でも実務経験7年で受験できる。

- つまり、
- ・7年経験⇒2級建築士
 - ・4年経験⇒1級建築士
 - ・5年経験⇒設備・構造設計1級建築士
- で全ての建築士の資格が取れる。

志を持たれた方は、当HPを活用して、2級建築士取得後に1級建築士の取得を目指しませんか。当HPは、1級建築士の講座が最も充実している。2級建築士取得後から1級受験までは、4年間であるが、その間、当HPを活用して1級建築士1発合格を目指しませんか(その間の費用は、4年間×1万円/年=4万円とリーズナブルである)。

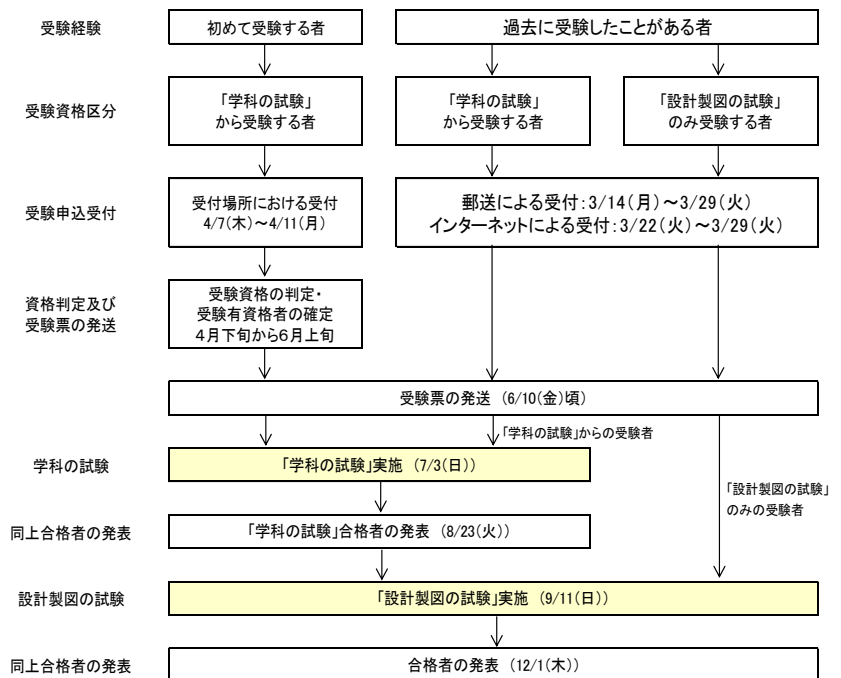


図1 平成28年度の2級建築士の資格取得までのフロー